

“笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートへ



様式2

～福島駅前通りリニューアル整備～

福島県北建設事務所
企画調査課
技師 根本智明

施工場所:福島市栄町地内

1. はじめに

福島駅前通り(県道 福島停車場線)は、福島駅東口から国道13号に至る駅前地区の中心的道路である。しかし、歩道の傾斜やアーケードの老朽化、それに加え店舗撤退等や利用者の減少など、多くの課題を抱えている。

そのため、福島県、福島市、地元が連携し、快適・安全でゆとりのある、人にやさしい歩行環境の形成、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいを創出することを目指し、道路空間の再整備を行うものである。



歩道の傾斜



アーケードの老朽化



自転車の歩道占有、走行

2. 事業内容

コンセプト:歩行者最優先の“笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートへ

福島県
【道路整備工事】
歩道の拡幅、舗装の美装化

福島市
【地下歩道屋根設置】
地下歩道屋根の設置
【修景整備支援】
地元で行う修景整備の支援

商店街振興組合・地元
【アーケード撤去、街路灯設置】
アーケード撤去、街路灯の設置
【修景整備】
景観に配慮した修景整備

3. 道路整備工事

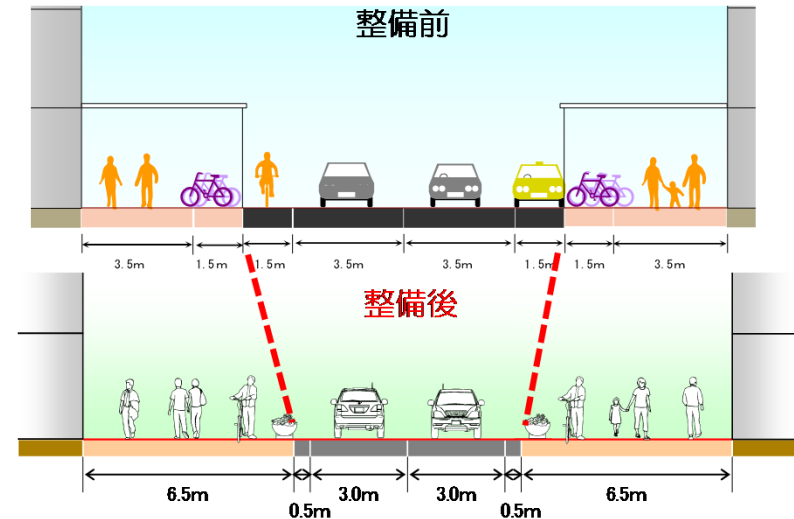
工事概要

延長 L=230m

幅員 W=車道部7.0m(全幅20.0m)

内容 現況道路幅員の中で、歩道、車道等を再配置
(車道 10m→7.0m、歩道 5m→6.5m)

工期 平成28年11月～平成30年3月(予定)



4. 舗装の美装化

景観コンセプト

「レトロモダンを基調とした街並み」

車道: 良好な走行性を確保しながら、レンガ調の意匠を表現可能な「型押しアスファルト舗装」

歩道: レンガに近い質感で、段差がなく、ベビーカー等の走行時の振動を大幅に低減するインターロッキングブロック



市道交差点から福島駅を望む

5. おわりに

福島市が実施する地下歩道屋根設置工事、商店街振興組合・地元が実施するアーケード撤去工事については既に完了しており、街路灯設置工事及び福島県が実施する道路整備工事についても、平成30年3月末に完了予定である。

今後は沿道各店舗が修景整備を実施する予定であり、「福島顔」と呼ぶにふさわしいメインストリートとなることを期待する。